

# たつき

令和5年8月

No. 44

題字：浅田 智世  
画：橋本 鈴子  
テーマ：「みんな笑顔」



## 社会福祉法人 さつき福祉会

### 法人本部

#### ■障害者支援施設 琴弾の丘(入所、生活介護)

##### ●ことびきライフ

〒667-0306 兵庫県養父市大屋町宮垣224-67  
TEL 079-663-8510 FAX 079-663-8050

##### ●ボランピアライフ

〒667-0311 兵庫県養父市大屋町大屋市場934  
TEL/FAX 079-663-8377

#### ■相談支援センター なごみ

〒667-0306 兵庫県養父市大屋町宮垣224-67  
TEL 079-663-8510 FAX 079-663-8050

#### ■共同生活援助事業グループホーム 天満

〒667-0306 兵庫県養父市大屋町宮垣224-67  
TEL 079-663-8510 FAX 079-663-8050

#### ■生活介護事業所 おおや作業所

〒667-0311 兵庫県養父市大屋町大屋市場938 TEL/FAX 079-669-1611

#### ■就労継続支援B型事業所 たんぽぽワーク

〒667-0021 兵庫県養父市八鹿町八鹿1441 TEL/FAX 079-662-0033

#### ■単独型短期入所事業 さつきホーム

〒667-0311 兵庫県養父市大屋市場227-1 TEL/FAX 079-669-1630

# コロナに学ぶ「優れた日本文化」

さつき福祉社会理事長 和田 金男

私たちの福祉法人の令和四年度を振り返ると、コロナ感染騒動に明け暮れたことでした。琴弾のピーク時の感染者は、利用者、職員併せて二十%にも成りましたが、幸いワクチン効果もあり、誰一人重症者もなく回復しました。

さて、コロナに学んだ「優れた日本文化」を紹介します。

令和四年一月六日の神戸新聞記事から私が分析しました。コロナ感染者が日本を一つとすると、米国は十二倍、英国は二十倍でした。私が敬愛する文芸春秋巻頭作者で作家、数学者の藤原正彦氏は、この結果について「民主主義国の国民の権利及び義務意識の差だ」と言われます。コロナ感染者数を比較すると、日本国民の一人ひとりが如何に他者との共存を意識して生きている国民であるかを理解できます。

世界の人々が日本人に驚愕していることを挙げると、東日本大震災の時、避難民が秩序正しく支援物資を受け取り、飲料水は受け取れなかった人に分けている姿です。先年の米国に上陸した台風カトリーナの被害者とよく比較されます。また世界のスポーツ大会で応援した日本人が客席を立ち去

る際に清掃をしている姿です。

次は、令和三年五月十七日の神戸新聞一面の記事です。みだしは「感染は自業自得、日本突出十一%、米英では一%台」と出ていました。後で調べると「自業自得」は、仏教用語と言うことでした。この自業自得の意味を、日本人が学習した歴史を振り返ってみると、千四百年前に遡ります。聖徳太子の時代に儒教、仏教が伝わり、聖徳太子は十七条の憲法の冒頭で、「和を以て貴しとなす」と言い、日本人は幕末まで寺子屋で学習してきました。

日本人の当時の学習水準は、世界一です。このデータ分析は、当時の欧米人の記録であることを、市民の皆様にご伝えているところでです。

英国から米国に渡った英国人の西部劇は子供のころよく見ましたが、今では見ることができませぬ。人権侵害に反省したものでしょう。

ロシアのウクライナ戦争も同類でしょう。ウクライナのゼレンスキー大統領の昨年三月二十四日の日本の国会議員向けのあいさつで、日本は共生国でその共生を持続していると話し、自分が大統領になると妻は、ボランティアで日本の昔話を、目の不自由な人に聞かせる活動をしていたと話し、日本理解の鋭い人だと感じたものでした。

## 令和4年度決算報告

### 事業活動計算書

(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	就労支援事業収益	18,652,003	17,460,896	1,191,107
	障害福祉サービス等事業収益	389,037,148	373,418,709	15,618,439
	授産事業収益	2,502,610	3,192,924	△690,314
	経常経費寄附金収益	358,000	319,784	38,216
	その他の収益	88,920	0	88,920
	サービス活動収益計(1)	410,638,681	394,392,313	16,246,368
	費用			
	人件費	293,219,960	280,114,009	13,105,951
	事業費	60,850,670	56,414,664	4,436,006
事務費	21,746,571	21,885,755	△139,184	
就労支援事業費用	17,501,664	18,084,448	△582,784	
授産事業費用	2,502,610	3,192,924	△690,314	
減価償却費	27,978,767	26,785,193	1,193,574	
国庫補助金等特別積立金取崩額	△18,110,179	△19,252,932	1,142,753	
サービス活動費用計(2)	405,690,063	387,224,061	18,466,002	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	4,948,618	7,168,252	△2,219,634	
サービス活動外増減の部	収益			
	受取利息配当金収益	4,942	5,966	△1,024
	その他のサービス活動外収益	4,725,210	5,806,837	△1,081,627
	サービス活動外収益計(4)	4,730,152	5,812,803	△1,082,651
	費用			
その他のサービス活動外費用	1,205,259	0	1,205,259	
サービス活動外費用計(5)	1,205,259	0	1,205,259	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	3,524,893	5,812,803	△2,287,910	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	8,473,511	12,981,055	△4,507,544	
特別増減の部	収益			
	施設整備等補助金収益	4,500,000	2,740,000	1,760,000
	その他の特別収益	1,315,436	0	1,315,436
	特別収益計(8)	5,815,436	2,740,000	3,075,436
	費用			
	固定資産売却損・処分損	1	0	1
国庫補助金等特別積立金積立額	4,500,000	2,740,000	1,760,000	
その他の特別損失	0	5,783,784	△5,783,784	
特別費用計(9)	4,500,001	8,523,784	△4,023,783	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	1,315,435	△5,783,784	7,099,219	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	9,788,946	7,197,271	2,591,675	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	244,411,974	237,428,703	6,983,271
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	254,200,920	244,625,974	9,574,946
	基本金取崩額(14)			
	その他の積立金取崩額(15)			
	その他の積立金積立額(16)	358,022	214,000	144,022
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	253,842,898	244,411,974	9,430,924	

#### ① 経営状況

法人の決算状況は、連結ベースで下表のとおりである。

	令和4年度末	令和3年度末	前年度決算時比
サービス活動収益	410,639千円	394,392千円	16,247千円
サービス活動費用	405,690千円	387,224千円	18,466千円
サービス活動差額	4,949千円	7,168千円	△2,219千円

一般企業の営利収益に相当するサービス活動増減差額は、4,949千円の黒字で、2年連続の黒字となった。しかし、前年決算時比較では2,219千円減少し、黒字額は小さくなった。これは、サービス活動収益が16,247千円増額したものの、サービス活動費用においても18,466千円増額となったためである。費用の増加は、人件費と電気代等の事業費増加が主な要因である。

#### ② 直近5年間の経常利益や当期純利益等の推移

(単位:千円)

勘定科目	H30	R1	R2	R3	R4
経常増減差額	1,554	△7,561	△1,056	12,981	8,473
当期活動増減差額	△8,350	△11,187	△4,822	7,197	9,789
次期繰越活動増減差額	274,736	242,547	237,429	244,412	253,843
当期末支払資金残高	129,335	100,827	96,791	114,034	127,058
積立資産	148,493	169,493	169,791	170,005	170,364

※サービス活動増減差額が一般企業の営利収益に相当し、サービス活動外増減差額との合計である経常増減差額が経常利益に相当します。上記の差額に、特別増減差額を加えたものが当期活動増減差額で、一般企業の当期純利益に相当します。

神戸やまぶき財団から助成金を受けて購入

利用者の衣類洗濯のための洗濯機と乾燥機



令和4年度神戸やまぶき財団助成事業により、琴弾の丘の洗濯機と乾燥機を購入しました。これは、利用者の衣類の洗濯を行っている洗濯機、乾燥機が老朽化により故障が相次ぎ、更新の必要に迫られ購入したもので、購入資金に同財団から240万円助成金を受けました。入所施設では50人が暮らしており、衣類は毎日50人分を職員が洗濯をしています。一日3サイクル稼働しており、使用頻度が非常に高く、故障すれば日常生活が成り立たない、なくてはならないものです。助成金をいただいで整備できたことは大変助かりました。神戸やまぶき財団様ありがとうございます。大切に使用させていただきます。

# 第1回さつき福祉社会実践発表会を開催

## 利用者に寄り添った より良い支援を目指して



さつき福祉社会は、琴弾の丘・おおや作業所・たんぼぼワーク・グループホーム天満・さつきホーム・相談支援センターなど各拠点事業所を持ち、それぞれの場所で、それぞれの職員が、利用者がより快適に生活できるように、利用者にあった個別の支援の仕方を考え、日々実践を行っています。

令和4年11月17日、これらの実践を情報共有し、利用者サービスがさらに向上できるように、琴弾の丘で、職員による実践発表会を行いました。

日常の支援の中で、様々な取り組みが実践されていますが、今回は代表で6名の職員がそれぞれの実践事例を発表しました。今回はその内容の一部を紹介します。

### 事例2

#### 「お風呂に入るようになる」 スモールステップ」

琴弾の丘に入所されているAさん。お風呂に入ることに対して強い拒否があり、髪の毛さえも洗うことが出来ていませんでした。職員間で相談する中で、「スモールステップで徐々に入浴ができるように支援する」という目標を作り、これを実践してみました。最初は居室での清拭、次に脱衣場での清拭など、スモールステップでの入浴支援に取り組み始めて6カ月。洗体と洗髪が出来るようになりました。Aさんの意思に寄り添い、チームワークで取り組んだ結果、今では当たり前のように入浴が出来ています。

### 事例1

#### 「食事が摂れる魔法の〇付け」

生活介護事業所「ことびきライフ」で、昼食を食べることができない日が続いた利用者さんがいました。どうすれば食事を食べていただけるかを考えた結果、メニュー表にその利用者さん自身が〇を付けて、自分で食べるメニューを選ぶ方法を提案してみました。自分自身で〇を付けたメニューは、徐々に食べることが出来るようになってきました。自分で選び、自分で決める。その意思決定を応援する支援の結果、食べることの出来なかった昼食が食べられるようになりました。



発表を熱心に聞く職員

### 事例3

#### 「作業所での生活リズムを整える」

おおや作業所に毎日マイクロバスで通っているBさん。作業所に到着してもなかなかバスから降りることが出来ない。何とかバスから降りても、次は玄関から中に入ることが出来ない。昼食の時間には食事場所まで行くことが出来ない。といった行動が毎日の生活の中で見受けられ、周囲も関わり方に困っていました。支援者で相談した結果、①自分の思いを報告日記という形で文字にする②職員に自分の思いを伝えることのできる場を作る③1日のスケジュール表を作って、見える化する等の取り組みを行いました。このような支援を続けた結果、徐々に本人が笑顔で活動に取り組み姿が見え、スムーズにバスの乗り降りや、移動が出来るようになりました。

### 事例4

#### 「自分で選ぶ、はじめの一歩」



画像を映し出して説明する職員

琴弾の丘に入所されていて、言葉でのコミュニケーションが出来ないCさん。日常生活の場であるユニットで、他の利用者さんが気になり、落ち着きが無く過ごされています。日課に対する不安などもあり、どう過ごしてよいか迷いながら日々生活されているようでした。このため、行動の意思があるかどうかを確認する「する」「しない」の絵カードを作り、本人の意思確認をしてから支援を行うことにしました。「しない」を選択したときには無理強いはいない。「する」を選択したときには、支援員とマンツーマンで作業や余暇活動に取り組みました。本人の意思決定により活動できたときにはしっかりと評価しました。自分で選んだ活動には、安心して取り組んでいる様子が伺えました。

参加した職員のアンケートの中から

**「今後も利用者のことを思いながら、支援方法を学んでいきたい」**

- \*とてもいい実践事例が聞けて良かったです。チームワークで利用者の特性を生かし、伸ばしていく良い方向になっていて、すばらしいと感じました。
- \*今回の発表を聞いて、私自身が利用者やそのご家族との関わりがとも少ないと思いました。何気ない関わりの中に多くのヒントがあると思います。時には、自分の支援の仕方や、組織のルールにこだわりすぎない視点も必要だと思いました。
- \*とても実のある実践発表を聞くことが出来て勉強になりました。それぞれの事業所で利用者への取り組み方は異なっていますが、個人の障がい特性をよくとらえて問題行動にどんな支援をすべきかなど、試行錯誤しながら頑張っておられることが素晴らしいと思います。この様な実践発表の場を設けることで、他支援員の技術や支援の方法を学ぶ場になるとが、さらなる向上につながると思います。
- \*実践発表会はいろんな事例を聞くことができ、とても参考になりました。私たち支援員の原点を感じさせてくれました。皆さんの一生懸命の思いが伝わり、共感しました。利用者さんのことを思い続けながら支援していこうと思いました。

# 令和4年度 思い出あれこれ



おおや作業所



グループホーム天満



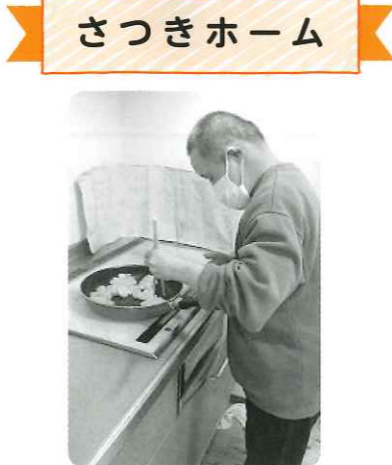
民家除草作業



保護者奉仕作業



八鹿文化祭バザー



さつきホーム



ボランピアライフ



ことびきライフ



余部外出 車内



年末お楽しみ会



7.8丁目余暇



1.2丁目誕生日会



5.6丁目余暇活動

琴弾の丘 ユニット



3丁目ハロウィン



3丁目余暇

# さつき福祉会 銘品紹介

利用者さん一人ひとりがやりがいを感じながら心を入れて作っています。  
一つ一つの品物の良さを皆さんに知ってもらえたらと思います。

**たんぽぽワークの利用者さんが作っています。**

**「こんにやく」もあります。**



たんぽぽ ふきん



たんぽぽワークで「こんにやく」作りに取り組んでいます。ぜひご賞味ください。

お問合せ先

たんぽぽワーク

☎ 079-662-0033

(養父市八鹿町八鹿1441)

**おおや作業所の利用者さんが作っています。**

お問合せ先

おおや作業所

☎ 079-669-1611

(養父市大屋町大屋市場938)



さをり織製品

利用者さんが糸選びから始めて手織り機を使って自由に織物を作っていきます。織った布をもとに職員が、パンケース、ストラップ、ポーチ等を縫製しています。



## 感謝

令和4年4月1日〜令和5年3月31日(順不同/敬称略)

●お世話になったボランティアの皆様  
井上 明/池田純子  
●物品をいただいた方

養父市社会福祉協議会/マックスバリュ養父店/国際ソロプチミスト但馬/豊岡短期大学/大屋市場区/福美屋/大屋ホームガス/薬局あさの/池田印刷所/キコーナ/高橋牧場/金谷農場/橋本源也/井上 明/谷岡穂好/藤原きよ/上垣やえみ/岡このゑ/西谷楨一/西谷益江/向井昌裕/大林里枝/向井英子/井原正一/鉦橋亮/村上寿広/池田重雄/西村重喜/上垣昌樹/山下 勲/大谷徳明/松下講平/藤原真弓/正垣直子/植苗淑恵/島田美保子/松田高幸/柳澤 昭/西田清隆/秋庭 豊/天野朝子/大森和広/浅田和昭/羽瀧登代子/平位恵美/成田昭子/林 彰/梅谷俊之/安井慶子/上垣三津枝/大谷和子/佐川基子/佐々木正代/高木正司/稗田文晴/岡本せつみ/五島八重子/岡田恵一郎/奥 信幸/和田絹子/神代喜一郎/中村 豊/西垣良康/河邊 操/小林英夫/沖田重富/西村喜代美/田村千冊子/鎌田弘光/栃尾英子/水田 巖/西山まち子/森本とよ子/佐藤光明/田村一弘/寺尾学/藤井正信/住吉美乃/三島佐和子/増崎恵子/匿名

●ご寄付をいただいた方

保護者会(備品に対する助成)

●アルミ缶収益

¥510,257

●切干大根収益

¥103,045

●ご協力ありがとうございました。



## 編集後記

コロナウイルスは、5月8日から感染症法上、季節性インフルエンザと同じ5類に分類されるようになり、世の中ではマスクをはずして歩く人も多くなってきました。また、行事やイベントも通常通り行われ、地域の祭りや行事なども行うところが多くなってきたようです。一方、コロナは増加傾向にあるというニュースも耳にします。国は、特に高齢者や基礎疾患のある方は重症化するリスクが高いことも報告されているので、引き続き注意をしてくださいとのこと。

さつき福祉会としては、利用者が今までの生活を取り戻すことで、生活に張りができたこと、様々な体験を通じて生きる喜びを感じたりできるような喜びながら、同時にコロナ対策も忘れずにといった状況です。

そんな中、中止し続けていたお盆の夏祭り、今年は今までも同じものではなくても、出来る方法でやっつけようということになりました。

これまでのやり方でなくても、利用者が楽しく生活できる方法を考え、引き続き支援に努めていきたいと思えます。

今後とも多くのおみなさんのご支援を宜しくお願いいたします。